

第64回入学式挙行

千西一遇

第105号
発行
2023年
4月10日
上田西高 校
新聞委員 会
編集局
編集局長：嶋田 晴佳
新聞委員長：樋口 華
重田 陽菜
金井 茉優
大田 すみれ
レイアウト：樋口 華



入学式に臨む新入生一同

4月6日(水)に第64回上田西高等学校の入学式が行われ、新入生295名の入学が許可された。前日まで雨予報で天候が心配されていたが、当日は天候に恵まれ晴天となった。今年度は保護者の参加が各家庭2名以内になり、マスクの制限も緩和された。式では学校長が式辞、理事長が告辞、来賓が祝辞を述べ、新入生の門出を祝つた祝電も多数届いた。保護者代表挨拶や生徒代表宣誓なども例年通り実施された。(嶋田 晴佳)

県内外74の中学校から295名の新入生 昨年より制限を緩和し実施

少子化の影響で中学生の人数が減少していく中ではあるが、本年度上田西高校には定員以上となる295名の生徒が県内外74の中学校から集まり、入学を許可された(進学コース255名、特進コース40名)。新型コロナウイルスの脅威が去りつつある中で実施された入学式は、昨年よりも制限を緩和して行われ、新入生のマスクの着用は個人の判断に委ねられた。教職員と保護者はマスクを着用して臨んだ。

学校長式辞では佐藤純也校長が「新入生には自ら学ぶということを期待したい」と話した。さらに「学問探究的要素やキャリア探究的要素が増える上でさまざまな力を鍛える3年間にして欲しい」と続け、新入生にエールを送った。水野一成理事長は理事長告辞の中で「学校の先輩だけでなく地域の方々も人生の先輩として西高生を応援している」と話した。数年前

の3月に西上田駅のホワイボードに駅員さんが卒業生に向けて書いた応援メッセージが話題になり全国に拡散されたエピソードを紹介し、「地域の多くの人から温かい思いやりに接して成長する生徒達は、情緒の安定した人になり必ず困難を乗り越えられると信じている」と期待を込めた。

(重田 陽菜)

入学式次第

- 一、開式の辞
- 一、国歌斉唱
- 一、校歌斉唱
- 一、入学許可
- 一、生徒代表宣誓
- 一、学校長式辞
- 一、理事長告辞
- 一、来賓紹介
- 一、来賓挨拶
- 一、祝電披露
- 一、学級正副担任紹介
- 一、保護者代表挨拶
- 一、閉式の辞

以上

入学式次第

1 学年正副担任団紹介

進学コース

- ① 正 平井 進悟 先生
副 齋藤 美智子 先生
- ② 正 土屋 興巨 先生
副 大藪 将也 先生
- ③ 正 丹羽 惠美 先生
副 白尾 秀人 先生
- ④ 正 矢澤 龍一 先生
副 西野 純 先生
- ⑤ 正 関口 和也 先生
副 田中 優佳子 先生

大学進学クラス

- ⑥ 正 村上 海 先生
副 町田 耕 先生
- ⑦ 正 松尾 光国 先生
副 若月 匡史 先生

特進コース

- ⑧ 正 井口 義啓 先生
副 長井 聡 先生

学年主任は丹羽先生、副主任は松尾先生。
数字はクラスを示す。



水野一成理事長(写真左)と佐藤純也校長(写真右)



また、1年3組について「明るく元気で活発なクラスになると思っています」と話した。クラスの目標について聞くと「グラスマッチャー文化」

学年主任は丹羽惠美先生 「念ずれば花開く」を指導方針に

今年度の1学年方針は「念ずれば花開く」。これには「自ら学び続け自分の人生を切り開く行動力を身に付けると共に、自他を尊重し、協同して社会課題を解決したり発信する力がある人間へと成長できるように」という願いが込められている。

(樋口 華)



1学年主任に着任した丹羽惠美先生

祭等で賞を取ることに拘るのではなく、やり遂げて良かったと思えるようなクラスにしたい」と答えてくれた。新カリキュラム2年目となるが「特別なにか」ということはない」と話してくれた丹羽先生。しかし、学生主体の取り組みとして早い段階から将来に目を向け、進路について具体的に考える機会が多く用意されている。その中のひとつとして「進路探索ワークショップ」が採用される予定。丹羽先生は、「自分のことを知り、社会に目を向け、そのうえで進路について考えていける機会になると考えている」と話してくれた。

新任 8年ぶり「アクティブに関わりたい」矢澤先生 7年連続「感情の選択に責任を」松尾先生

4組担任の矢澤龍一先生は硬式野球部部長、生徒指導主任を歴任し今年度から8年振りに担任を務める。矢澤先生は「よく人の話を聞いてくれる」と4組の生徒の印象を挙げ、「今は何も分らない生徒のために多くのことを受け入れる側にまわってあげたい」と意気込んだ。そのため、自らアクティブに発信し生徒と積極的に関わることで生徒自身が自分を尊重するクラスをつくることを目標に学級経営を行っている。

7組担任の松尾光国先生は現在まで6年連続で特進コースの担任を務め、7年目の今年度からは大進クラスである7組の担任となった。教育課程の変更に伴い今年度から初めて編成された大進クラスの大きな特徴は、「進学コースに属し専修体育と専修音楽を選択することが可能でありながら、特進コースに進する学習的な取り組みも行うことである」と松尾先生。大進クラスは進学コースとして部活や生徒会活動にも主力で取り組む文武両道を目標とするクラスとなっている。



8年ぶりに担任を務める矢澤龍一先生



7年連続の担任となる松尾光国先生

また、松尾先生はクラスについて「物事に対する反応を選択できるようにしたい」と意欲を見せた。例えば、嫌な気持ちになつたときは「嫌な気持ちにならない」という選択をしなかつたことになる。そのような感情を自分で責任を持って選択できるように生徒を育成すべくクラス作りを進めていく。

(大田すみれ)

新入生インタビュー

入学式終了後、新入生へインタビューを行った。硬式野球部に入部予定の1年1組北澤学翔さんと1年3組清水正吾さんは、「甲子園への出場とそこで優勝することを目標に頑張りたい」と話してくれた。



取材に答えてくれる新入生

推薦で入学したという1年2組藤澤優杜さんは、「高校に入ってから最初の大きな行事である入学式はとても緊張した」と話し、高校生活の目標を「軟式野球部で部活動に励みながら進学コースで勉強との両立を頑張りたい」と語ってくれた。

1年3組小山優舞さんは、「学校行事の中で特に西高祭が楽しみ」と話し、「充実した西高祭にしたい」と続けた。他にも、大学進学クラスを選択したという1年7組大井結愛さんは、「将来の夢が明確になつてい

ない中、選択肢を広げるために太学進学クラスを選択した」と理由を教えてください。

インタビューに答えてくれた新入生は、高校は中学校と比べて人数が多いことに驚き、友達ができるのか不安な気持ちがあるのと同時にたくさん新しい出会いがあることを楽しみにしている様子が多く見られた。

上田西高校では、こゝでしか味わえないそれぞれの青春が待っている。新入生の充実した3年間の高校生活がスタートを切った。

(金井 茉優)



入学式の様子

生徒会 Instagram やってます!

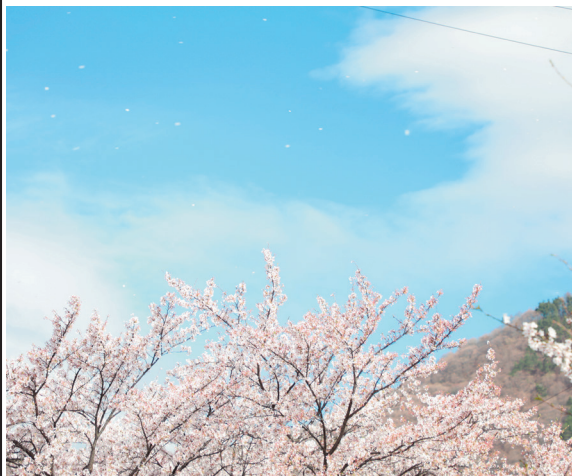


上田西高校には、入学式の保護者代表挨拶でも触れられていたように生徒会が運営しているInstagramアカウントがあります。行事ごと、校内活動、部活動プロ選手として活躍している卒業生のインタビューなど様々な投稿を行っています。西高生の活躍している姿、西高の雰囲気など感じられると思います!

本格始動して3年目の今年度、ついにフォロワー10000人を突破しました!是非いいね、フォローお願いします!

生徒会書記長 齋藤 妃良

↑スマホのカメラをかざして読み取ってください



今年は例年に比べ桜が満開になるタイミングが早く、入学式時には散りかけている様子も見られた



入寮式を控えた寮生の様子



新入生代表宣誓を行った菅裕之介さん



マスクを外して記念撮影の臨む新入生と保護者